

Safety and Environment Center for Petroleum
Development

SEC ニュース

一般財団法人 エンジニアリング協会
石油開発環境安全センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-18-19
(虎ノ門マリビル 10 階)
TEL(03)5405-7205/FAX(03)5405-8201
URL: <https://www.ena.or.jp/SEC/>

第 110 号／2019. 7

- 委員会・部会報告
- 令和元年度 SEC の事務局体制について
- 令和元年度受託・助成事業について
- 会員の広場
 - ・研究成果発表会 2019 開催報告
 - ・エンジニアリング功労者等表彰式開催報告
 - ・海外出張報告
 - ・見学会報告
- 会員の皆様へのお知らせ
 - ・会員状況
 - ・エンジニアリングシンポジウム 2019 開催のご案内 令和元年 10 月 18 日(金)開催
 - ・SEC 国内見学会 2019 開催の予告 令和元年 9 月 26 日(木)～9 月 27 日(金)予定

■委員会・部会 報告■

第 1 回企画委員会および第 1 回企画技術部会を開催いたしました。両会議を代表して第 1 回企画委員会の内容を報告いたします。

□ 令和元年度第 1 回企画委員会

日時：令和元年 6 月 10 日（月）16：00～17：30 ENAA 会議室

議題：(1)平成 30 年度事業報告(案)および決算報告(案)

(2)平成 30 年度 SEC 実施事業報告および令和元年度 SEC 計画事業

(3)平成 30 年度企画技術部会の活動報告と令和元年度活動計画

(4)その他、行事予定他

1.[開会挨拶] 山田所長

2.[議 事]

議題(1)平成 30 年度事業報告(案)および決算報告(案)について本委員会で原案通り承認された。本件は、6 月 28 日開催の理事会、評議員会に付議され、承認された。

議題(2)平成 30 年度 SEC 実施事業および令和元年度 SEC 計画事業について報告された。

議題(3)平成 30 年度自主事業 企画技術部会分科会、WG の活動報告及び令和元年度活動計画について報告された。

□ 資源分科会

日時：令和元年 6 月 20 日（木）～21 日（金）秋田県秋田市

令和元年度第 1 回資源分科会は秋田県への二日間の見学会として開催されました。初日は秋

田大学国際資源学部附属鉱業博物館の見学、二日目は国際石油開発帝石(株)の八橋油田と関連施設の見学を行いました。鉱業博物館見学に先立ち、分科会長である長縄先生による秋田大学国際資源学部の研究と施設の説明がありました。また、鉱業博物館ではボランティアの方より秋田県の鉱業の歴史を含め丁寧な説明がありました。二日目は国際石油開発帝石(株)の秋田鉱業所にて八橋油田の歴史と現状を説明いただいた後、外旭川プラント施設の見学を行いました。二日間とも出席者による活発な質疑が行われ大変有意義な見学会となりました。現地の様子について詳しくは SEC ホームページの見学会報告をご参照ください。

(https://www.ena.or.jp/?fname=sec_new_20190624.pdf)

(記：西野卓也)

□ 環境・エネルギー分科会

日時：令和元年 5 月 30 日（木）9：30～16：20 ENAA 会議室

令和元年度第 1 回環境・エネルギー分科会は賛助会員である DNV GL 社との共催の形式をもって、「Intelligent Asset Integrity Management & Safety Management Software in the Era of Industry 4.0」として開催されました。講演内容は、Asset Integrity Management に関して世界的に広く使われている DNV GL 社のリスク管理ソフトの紹介とその国内外の利用例の紹介となりました。多数の参加をいただき、活発な質疑が行われました。

(記：山下裕士)

□ 環境影響評価分析 WG

日時：令和元年 6 月 6 日（木）14：00～15：00

環境省環境影響評価課を訪問し、環境影響評価書の調査に関する情報共有と意見交換を実施しました。同課出席者からは引続き定期的な情報交流について希望する旨と、環境アセスメント学会等での報告による周知についてアドバイスがありました。

(記：那須 卓)

■令和元年度 SEC の事務局体制について■

5 月 1 日付けで SEC メンバーの異動がありました。

新たな体制の下でエンジニアリング産業の発展のために努力してまいりますので、皆様のご指導ご協力を宜しくお願い申し上げます。

□ 新任の挨拶

・山下 裕士

本年 5 月 1 日付けにて国際石油開発帝石(株)より出向してまいりました山下と申します。専門分野は油層となります。SEC に出向する前の 4・5 年については、出向した JOGMEC や INPEX で主としてシェール関連の技術研究やプロジェクト関連に携わってまいりました。最近は現場から離れた身ではありますが、その分多方面での作業を担当してきた経験を活かし、会員各位のご意見を伺いながら、ENAA/SEC の立場で皆様のお役に立てるよう考えておりますので、皆様よろしく願いいたします。

■令和元年度受託・助成事業について

本年度は下記の受託事業及び助成事業を推進致します。

□受託事業

- 1) 「令和元年度石油・ガス供給等に係る保安対策調査等委託費（海洋における石油・天然ガス開発に係る保安調査）」を経済産業省より受託（2年度目）。

本事業は、今後、我が国の周辺の海洋において石油・天然ガス開発が行われる場合を想定し、我が国における保安及び環境保全上の課題を整理することを目的とし、平成30年度に引き続き、海外の石油・天然ガス開発に係る保安対策及び環境対策の最新動向調査を実施致します。

- 2) 「旧新潟製油新発田鉱山 R8 号井及び R2 号井封鎖事業に伴う技術支援業務委託」を新発田市より受託（2年度目）。

平成30年度に引き続き、国の「廃止石油坑井封鎖事業費補助金」を受けて実施する新潟県新発田鉱山（新発田市）の休止鉱山漏洩対応について、当該坑井の封鎖工事計画策定及び調査工事实施に必要な技術支援を行います。今年度は検討対象を2坑井に増やし、本格的な漏洩対策、廃坑に向けた保安対策、環境保全に関する調査を実施致します。

□助成事業

- 1) 自主事業「諸外国の海洋石油・天然ガス開発に係る環境影響評価書調査・分析」に対して（公財）日本財団より助成（2年度目）。

本事業は、海洋石油・天然ガス開発の事例が豊富な英国等における環境影響評価の考え方・手法等を把握し我が国の海洋資源開発に資することを目的に、平成30年度から実施しているものです。平成30年度に収集した英国等の環境影響評価書について、その内容の調査・分析を行うとともに、令和元年度に公開された環境影響評価書についても調査収集を行います。



■会員の広場■

《研究成果発表会 2019 開催報告》

ENAA 研究成果発表会 2019 が開催されました。

ENAA 研究成果発表会 2019 は、7月4日（木）～5日（金）の2日間にわたり開催されました。石油開発環境安全センターは、7月5日（金）午前10時20分から山田所長の SEC 業務内容のプレゼンの後、平成30年度の研究成果について発表しました。各セッションとも深く興味を持たれた多数の方々（延べ80名）のご参加をいただき、大盛況となりました。

- ① 「平成30年度 メタンハイドレート開発に係る海洋生態系への影響評価のための基礎研究」（山下技術調査部部長代理）
- ② 「海洋における石油・天然ガス開発に係る保安調査」（那須総務企画部長）
- ③ 「旧新潟製油新発田鉱山 R8 号井封鎖事業に伴う技術支援協力業務」（西野技術調査部長）

- ④「諸外国の海洋石油・天然ガス開発に係る環境影響評価書調査・分析」（日本エヌ・ユー・エス(株)北川客員研究員）

《令和元年度エンジニアリング功労者等表彰式開催報告》

令和元年度エンジニアリング功労者賞・奨励特別賞の表彰式が執り行われました。

日 時：令和元年 7 月 16 日（火）17：00～17：40

場 所：第一ホテル東京（新橋）

令和元年度エンジニアリング功労者等表彰式及び懇親パーティが第一ホテル東京にて多数の参加を得て盛大に開催されました。SEC 賛助会員からも個人表彰の千代田化工建設(株)黒田様、松坂様の他、グループ表彰でも多数の方々が受賞されました。受賞者の皆様、誠におめでとうございます。

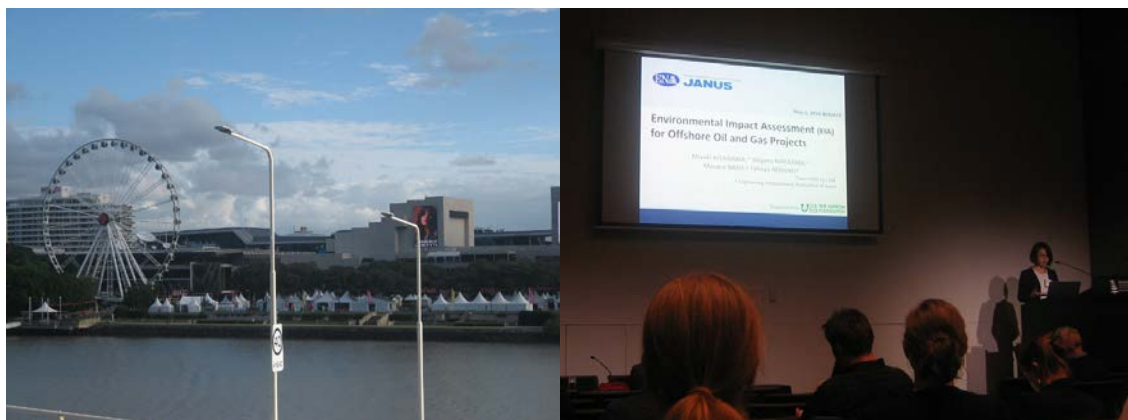
《海外出張報告》

（公財）日本財団から助成を受けて実施している自主事業「諸外国の海洋石油・天然ガス開発に係る環境影響評価書調査・分析」の一環として、オーストラリアでの国際学会での報告及び現地官庁等を訪問してのヒアリング調査を行いました。



□ IAIA19

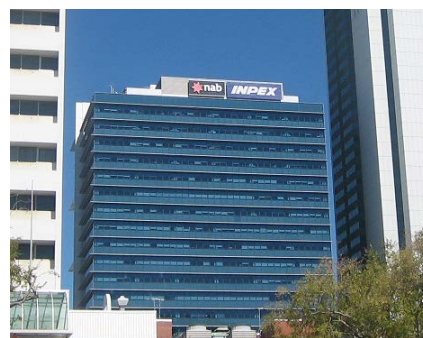
4 月 29 日から 5 月 2 日にかけ、国際影響評価学会（IAIA）の本年度総会、講演会、展示会がオーストラリアのブリスベンにて開催されました。当センターも「諸外国における海洋石油・天然ガス開発における環境影響評価書調査・分析」の発表のため、当該講演会に参加しました。講演は 14 会場、127 セッションに分かれて実施され、当センターの講演は 5 月 1 日午後の“Country Experiences with evolution in the energy sector & the IA requirement (I)”内で行われました。質問も数多く出て時間内では全てを受け付けられず講演後に名刺交換をして今後意見交換を実施していくこととしました。



左：Conference 会場（後方の平たい建物） 右：報告の様子

□ ヒアリング

ヒアリングでは INPEX パース事務所のご担当者より、同社イクシスプロジェクトの概要説明やオーストラリアにおける石油開発状況、プロジェクトにおける安全管理の現況など丁寧に説明していただきました。またオーストラリア海洋石油開発の規制当局である NOPSEMA においても、オーストラリア海洋における石油会社の活動状況、NOPSEMA の組織と役割、安全管理と環境保全の考え方等、細かい点にいたるまで丁寧に説明してもらい、知見を深める絶好の機会となりました。



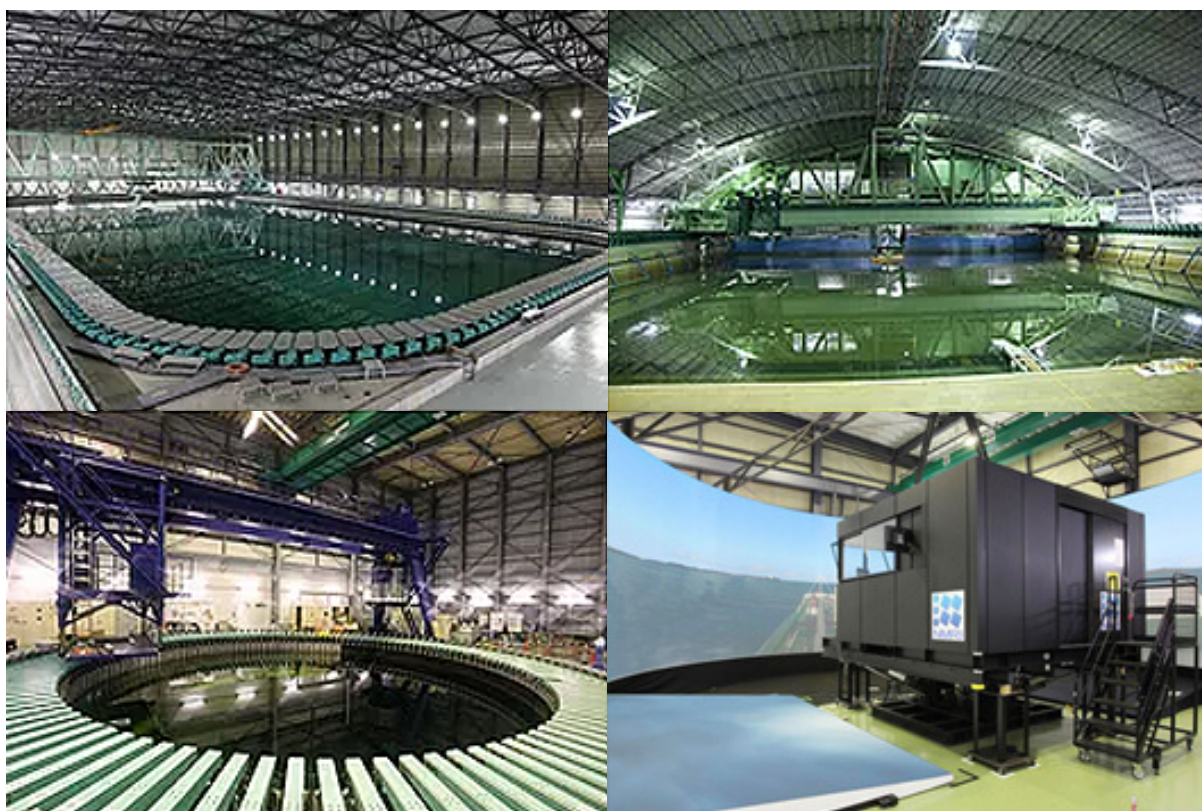
INPEX（パース）

（記：西野卓也）

《見学会報告》

□海上技術安全研究所

6月17日（月）に、本部海洋開発室のアレンジにより、前野専務理事以下とともに三鷹市の海上技術安全研究所（国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所）を訪問しました。まず始めに宇都所長からの同研究所の概要説明や研究紹介などを伺った後、研究施設を見学しました。実海域再現水槽、海洋構造物試験水槽、深海水槽など、それぞれ大きさも機能も違う3つの試験設備では、様々な波の形を自由自在に作るデモンストレーションが行われ、高い技術力の一端を垣間見ることができました。また操船リスクシミュレータでは、実際にあった事故例を再現するデモンストレーションが行われ、夜間の船の航行の難しさを感じとることができました。



上段左：実海域再現水槽 上段右：海洋構造物試験水槽

下段左：深海水槽

下段右：操船リスクシミュレータ

写真出典：海上技術安全研究所HP（https://www.nmri.go.jp/study/faci/facilities_menu.html）

施設見学の後には、場所を変えて意見交換の場が設けられ、和やかなひとときを過ごした後に帰途につきました。お忙しい中に見学させていただきました宇都所長以下関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。なお、今回見学させていただいた同研究所の実験施設は、定期的に一般公開もされているとのことです。

(記：那須 卓)

□天然ガス鉱業会「ちきゅう」見学会（静岡市）

7月17日（水）に、静岡県清水港に停泊中の地球深部探査船「ちきゅう」見学会に参加しました。「ちきゅう」の船体は全長210m、総トン数56,000トン以上で、最大長10,000mのドリルストリングにより、マントルや巨大地震発生域への大深度掘削を目標とすると言われるとおり、まさに威容と表現できる掘削船であり、マントル掘削を目指すリグは力感あふれて資機材も充実していました。

今回は、船を制御する操舵室、前回は実現しなかった掘削関連施設の見学も実現し、掘削作業をコントロールするためのドリラーズコンソールや噴出防止装置（BOP）関連設備、大水深用ライザーパイプ、コア採取用ビットおよびコアサンプラー等の機器の見学を実施しました。見学では、各所でご担当の方から丁寧にご説明をいただき、「ちきゅう」の活動についても理解を深めることができました。ご説明くださった「ちきゅう」の皆様、またこのような見学会を企画していただいた関係各位に深く感謝いたします。



上段左：ヘリデッキより望んだ櫓

上段中：ビットおよびコアサンプラーの説明

上段右：ドリラーズコンソール内での説明

下段左：ムーンプールから見上げたドリルフロア

下段中：BOP スタック（下段部のみ）

下段右：ライザーパイプ（下段）とケーシングパイプ

左：ヘリデッキでの集合写真

(記：西野卓也)

■会員の皆様へのお知らせ■

□会員状況（令和元年7月現在）31社

(株)安藤・間、(株)エス・アイ・エル、応用地質(株)、鹿島建設(株)、(株)環境総合テクノス、関東天然瓦斯開発(株)、キャメロンジャパン(株)、国際石油開発帝石(株)、五洋建設(株)、(株)サイエンスアンドテクノロジー、JX石油開発(株)、JX石油開発テクニカルサービス(株)、JFEエンジニアリング(株)、清水建設(株)、石油資源開発(株)、大成建設(株)、(株)ダイヤコンサルタント、(株)竹中工務店、千代田化工建設(株)、DNV GL AS、天然ガス鉱業会、東洋エンジニアリング(株)、戸田建設(株)、日揮(株)、日鉄エンジニアリング(株)、日本エヌ・ユー・エス(株)、日本オイルエンジニアリング(株)、日本海洋掘削(株)、(株)日本海洋生物研究所、(株)物理計測コンサルタント、マリンスフィア(株)（50音順）

□エンジニアリングシンポジウム 2019 開催のご案内

恒例のエンジニアリングシンポジウムが下記の日程で開催されます。

・開催日：令和元年10月18日（金）

・会場：日本都市センター会館

詳細は8月上旬頃協会のHPに掲載されます。

□SEC 国内見学会 2019 開催の予告

SEC 国内見学会 2019 は、9月26日（木）～27日（金）に、下記で実施いたします。多数の会員の皆さまのご参加をお待ちしております。

(1)日時：令和元年9月26日（木）～27日（金） 釧路空港 集合／解散

(2)見学先：9/26(木)午後 釧路コールマイン(株)、炭鉱展示館 等

9/27(金)午前 国際バルク戦略港湾・釧路西港視察

（港湾荷役施設と穀物サイロ、飼料工場）等

(3)参加人数：20名程度（大型バス1台）

(4)申込期限：9月6日（金）（定員になり次第、締め切らせていただきます。）

以上



昨年と違い今年は冷夏と思われるほど涼しい日が続いておりましたが、梅雨明けも間近となり、いよいよ夏本番です。

夏休みはどこかお出かけの予定は立てられましたか。予定を立てている時が一番楽しいかもしれませんね。お仕事も楽しく前向きに頑張りたいと思います。

SECも受託事業のお仕事をいただき、会員の皆様のご協力を得ながら事務局一同力を合わせ努力してまいりたいと思います。

ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。 SEC 事務局一同

